



## 株式会社そごう・西武 西武秋田店



### お客さまや地域の皆さまと共に 社会課題の解決に取り組む「百貨店のSDGs」

#### 取組の目的・背景

街の中心に位置する百貨店は、皆さまに豊かな暮らしをご提案する商業施設であると同時に、お客さまをはじめ、地域の皆さまをつなぐ場でもある。日々ご来店される多くのお客さまの中には「社会のために少しでも役に立つことをしたいけれど、NPOなどに知り合いはいないし、自らボランティアに参加するのも少し抵抗がある。」という方が多いため、そのようなお客さまのやさしさを社会貢献団体につなぐ「3つの社会貢献活動」として「盲導犬育成支援」「植樹・育樹」「途上国支援」を実施。また、地域のさまざまなステークホルダーと連動し、百貨店の場を活用した地域活性化への取り組みを実施している。

#### 取組の内容

##### ■ 3つの社会貢献活動

##### ① 盲導犬育成支援（2004年～）

視覚に障がいのある方と盲導犬への理解促進を目的に、1階＝正面入口に盲導犬をかたどった大型募金箱を常設。また、従業員も毎月の給与から自動引落で積み立てる「ワン！コイン倶楽部」の募金を任意で実施し、店頭募金と合わせて日本盲導犬協会に寄付。その他にも、定期的に、日本盲導犬協会の協力で「盲導犬キャンペーン」を開催し、お客さまへの啓発活動を実施。

##### ② 植樹・育樹（2009年～）

1階＝洋品小物売場、2階＝紳士洋品売場、地階＝商品券売場、インテリア雑貨売場で、税込100円のグリーンラッピングをお選びいただくと、その内の50円が認定NPO法人環境リレーションズ研究所への寄付となり、植樹や育樹に役立てられている。グリーンラッピングのワンポイントには、西武竿燈会が竿燈祭りで使用し折れてしまった竿竹を再利用した手作りマスコットを活用。グリーンラッピングは80件で1本分の植樹につながっている。

### ③途上国支援（2009年～）

2階=こども服 学生服・ランドセル承りカウンターでは、常時お客さまから使わなくなったこども靴をお預かりし、国際協力NGOジョイセフを通じてザンビア共和国に届けられ、こどもたちの足を寄生虫病や破傷風から守っている。

## ■地域との取り組み

### ①循環型システムを構築

西武秋田店で排出された生ごみを店内のコンポストで堆肥化し秋田県内の果樹園に寄贈。そこで収穫されたりんごを西武秋田店で販売することで循環型社会への貢献につながっている。また家庭菜園用として、毎月カードメンバーのお客さまにも数量限定で堆肥を配布。

### ②秋田の再生可能エネルギーパネル展（2021年）

秋田県エネルギー・資源振興課等と連携し、秋田県の大自然を活かした再生可能エネルギーによる発電システムをパネルや模型で紹介。県民に向け、地元秋田県の取り組みを知ってもらう活動となった。

### ③秋田市職員民間企業研修に協力

年に4回、各回約10名を受入れ、百貨店のおもてなしを修得して頂く研修を実施。実際に店頭で接客を体験することで「市民・地域・組織にとって価値ある職員」の育成に貢献。

## ■取組の実績・成果

①盲導犬育成支援募金額累計：10,092,657円（2004年9月～2024年12月までの累計）

②グリーンラッピング承り件数：15,833件（2004年9月～2024年12月までの累計）

③こども靴下取り足数：28,543足（2004年9月～2024年12月までの累計）

## 今後の展望

そごう・西武の環境方針では、「環境・社会・経済が一体となった事業活動を通じ、お客さまやお取引先、地域とともに、次世代に続く豊かなくらしづくりに取り組みます」を基本理念に掲げている。

昨年開店40周年を迎えた西武秋田店は、県内唯一の百貨店として、街の中心にある立地を活用し、お客さまをはじめ、自治体、企業、学校、団体等、秋田県SDGsパートナーの皆さまがつながる場を提供することで、持続可能な街づくりへの貢献を目指す。